

【京都大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻 地質学鉱物学分野 助教】

2026年5月25日

職 種	助教
募集人員	1名
所属および勤務場所	所属 地球惑星科学系 勤務場所 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 地質学鉱物学分野 地球物質科学講座（所在地 京都市左京区北白川追分町） ただし、大学が在宅勤務を許可又は命じた場合は自宅等
募集分野	岩石学およびそれに関連する地質学分野
勤務内容	岩石学に関連する先端的かつ分野横断的研究を、特に野外調査と岩石試料の解析に基づく研究手法を用い、地球惑星科学専攻や学内外の他の分野の研究者と協力しながら推進する。また、教育（地球科学に関する全学共通科目、学部専門科目・大学院科目における偏光顕微鏡実習や野外実習など）と本専攻の様々な活動に尽力する。
資格等	博士の学位を有すること（ただし、2027年4月1日の時点で博士の学位取得後7年以内であること）、または2027年3月末日までに取得の見込みであること。
着任時期	2027年4月1日以降、可能な限り早い時期
任期	7年（再任可。ただし1回限りとし、再任の場合の任期は3年。再任は「京都大学大学院理学研究科において任期を定める教員の再任審査に関する内規」「地球惑星科学系における任期付助教の再任審査に関する内規」により判断。）
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 専門業務型裁量労働制を適用しない場合は、週5日8:30～17:15勤務（休憩12:00～13:00）、超過勤務を命じる場合あり。 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与・手当等	本学支給基準に基づき支給
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法 および 必要書類	応募方法： 応募者は、必要書類すべてを1つのpdfファイル（100MB程度まで）にまとめ、以下のGoogle FormのURLからアップロードしてください。なお、アップロードにはGoogleアカウントが必要です。 https://forms.gle/KWgskELKLfXB26Et8 必要書類： 1. 履歴書（写真貼付、連絡先および所属学会を明記のこと） 2. 研究業績リスト （1）論文（査読の有無を記すこと） （2）著書 （3）その他 3. 研究・教育に関する受賞歴、外部資金獲得実績リスト 4. これまでの研究成果の概要（1000字程度）と教育実績の概要（1000字程度） 5. 着任後の研究・教育に関する抱負（2000字程度） 6. 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先 7. 現所属先における研究公正に関する研修の受講の有無

	<p>8. 主要論文 3 編以内の pdf 別刷りと和文の解説 (各々 400 字程度)</p> <p>なお、出産、育児又は介護により研究を中断した期間がある場合は、応募者の申し出により、研究業績の審査において考慮しますので、その旨を履歴書に記入してください。</p>
応募締め切り	2026 年 8 月 28 日 (金) 17:00 (日本標準時)
選考方法	書類審査を経て面接を行うことがあります。
問い合わせ先	<p>〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 副専攻長 成瀬 元 電話：075-753-4167 E-mail：naruse.hajime.4c[at]kyoto-u.ac.jp ([at]を@に変えてください) ただし、メール Subject は「【地球物質科学講座助教公募の件】」で始めてください。</p>
その他	<p>応募書類は採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。</p> <p>地球物質科学講座に該当する分科 (地球惑星物質科学分科) が属する分野の構成員と研究内容は、下記の URL をご参照下さい。</p> <p>https://www.kueps.kyoto-u.ac.jp/</p> <p>採用後は、地球惑星科学系に所属し、大学院理学研究科地球惑星科学専攻において勤務します。</p> <p>本学における男女共同参画推進施策の一環として、雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律 (男女雇用機会均等法) 第 8 条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。</p> <p>京都大学では教育・研究および就業と家庭生活の両立を支援いたします。詳細につきましては、男女共同参画推進センターの、下記の URL をご参照ください。</p> <p>https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p> <p>京都大学大学院理学研究科は、研究活動におけるコンプライアンスに対する教職員や学生の意識の向上に努めています。</p>